

中野区立第二中学校学校だより

若葉 第230号



令和3年7月15日

令和3年度第4号
発行者：校長 松田 芳明

「非認知能力 (Non cognitive Skills)」

ここ数年、「非認知能力 (Non cognitive Skills)」というワードが、多くの人たちの関心を集めています。単純に言えば数値化できる能力を「認知能力」、数値化できない能力が「非認知能力」となります。具体例としては、IQ (知能指数) や学力調査などは、数値化できるので「認知能力」、意欲、楽観性や忍耐力、自制心、思いやりやコミュニケーション能力などは数値化できないので「非認知能力」となります。

では何故、「非認知能力」に注目が集まっているのでしょうか。それは、現代社会が、AI時代、人生100年時代、**VUCA時代**、Society5.0などと呼ばれ、加的速度的に変化する時代を生き抜いていくうえで、テスト等で測りやすい「認知能力」ばかりに目を向けるのではなく、「非認知能力」にも目を向けた教育・保育・子育てや人材育成が求められているから、なのではないでしょうか。

中でも、自制心、忍耐力、レジリエンス (回復力) など、感情を安定させたり、辛いことやしんどいことがあってもぐっと我慢したり、落ち込んだり凹んだりしても気持ちを切り替えるなどの**「自分と向き合う力」**や意欲・向上心、自信・自尊感情、楽観性など、現状をもっとよくしたい、もっと自分の力を高めたいなど、新しいチャレンジやレベルアップに臨んだり、そのために自分の可能性を信じて、奮い立たせたりする**「自分を高める力」**、さらには共感性、協調性・社交性、コミュニケーション力など、相手の表情や言動や相手が置かれている状況やここまでの文脈などから、相手が何を感じ、思い、意図しているのかを想像的に理解できたり、周囲に合わせながら上手に人づきあいが出来たり、言葉以外の表情やリズム・テンポ・抑揚などを意識しての**「他者とつながる力」**の3領域の力を伸ばすことが求められているのではないのでしょうか。

これらの**非認知能力は自分自身で伸ばすことが可能**です。例えば、「今日はいつもより我慢強くしてみよう!」、「話し合いの席で意欲的に発言しよう!」、「この場では周囲の人に愛想よく振舞おう!」などと意識することで、行動が伴ってくる傾向が強くなります。と、いうことは、相手の非認知能力を「ほめる」、「しかる」ことで伸ばすことが出来るということでもあります。その際、大事なことは**「結果ではなく、プロセスをほめる」**ことだと言われています。ただし、プロセスをほめるというと、「がんばったね!」の一言で片づけてしまいがちです。プロセスを丁寧に見取り、具体的なエピソードで表現し、そのことを「ほめる」(価値付る)ことが必要です。

併せて、本人が否定的に捉えていることを肯定的に捉えなおす**「リフレーミング」**も重要です。例えば、「神経質」な人のことを、細部にまで目が行き届くしっかり者と言い換えたり、「飽き性」の人については、行動力や決断力がある人と言い換えたり、「自主性がない」人のことを、サポート役に向いている人と言い換えることが出来ます。他にも、口下手→聞き上手、飽きっぽい→好奇心旺盛、意志が弱い→柔軟性がある、計画性がない→臨機応変、暗い→落ち着いている、こだわる→信念が強い、太り気味→貫禄がある、などと否定的に見がちなることを、肯定的に捉えなおすことが、とても重要なポイントとなります。

どうぞポジティブに、前向きに、自分自身の非認知能力を伸ばして行ってください。

<7/6 火曜日 オリピック・パラリンピック教育>



7月6日（火）③④にオリパラ特別授業で、パラリンピアンである根木慎司さん（シドニーパラリンピック車いすバスケットボール日本代表キャプテン）をお招きして、「車いすバスケットボール」に関連する話と体験を行ないました。2年生は、昨年も、講演にお招きしてお話を伺っています。その時にはできなかった、「車いすバスケットボールの体験をしよう」という約束を実現することができました。また、今回はI組の全生徒にも参加をしてもらいました。（I組の生徒の皆さんは、安全面を考慮しお話と見学のみとしました。）

この特別授業の最後に、質問コーナーがあり、その中に印象深いものがありましたのでご紹介しておきます。

Q「障害があって困ることはなんですか」という質問に、

A「ひとによって違うと思います」という回答がありました。さらに、「違うことを理解しあって仲良くなることが大切です」と付け足されていました。これを聞き、障害の「ある」「なし」だけでなく、地球上にいる一人一人が、このような思いをもって行動すれば、争いはおきなくなるでしょう。



根木さんは、選手村の副村長だそうです。テレビでも解説をされるということでした。「選手村からオンライン中継ができたらするよ。また、連絡するね。」といわれています。

<部活動／令和3年度の総合選手権大会入賞>

女子バスケットボール部 中野区第3位
優秀選手賞 3年C組 阿部 結乃さん

野球部（実践学園との合同チーム）
中野区第3位

<7/10 土 オンライン：授業参観・進路説明会・修学旅行説明会>

土曜日授業では、感染状況からオンライン授業参観とさせていただきました。また、進路説明会及び修学旅行説明会にもオンラインで多数ご参加いただきありがとうございました。

校内LANが体育館まで、きちんと整備されたことで、今年度はトラブルが少なかったと感じておりますが、課題について感じられることは、ぜひ、ご意見としてお寄せください。